



# OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF

OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な最短パス優先 (SPF) 機能では、厳格な SPF セグメント識別子 (SID) に関する情報を提供します。

- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF に関する機能情報 \(1 ページ\)](#)
- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF の制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF の有効化および無効化 \(4 ページ\)](#)
- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF SID の設定 \(5 ページ\)](#)
- [OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF の確認 \(5 ページ\)](#)

## OSPFv2 セグメント ルーティングの厳格な SPF に関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF に関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF 機能は、厳格な最短パス アルゴリズムをサポートするためのプロビジョニングを提供します。パケットが SPF アルゴリズムに従って転送されることを強制し、SPF 決定を上書きする可能性のあるローカル ポリシーを無視するようにパス内のルータに指示します。  次のコマンドが追加または修正されました。  <b>address-family ipv4 strict-spf。</b>

## OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF の制約事項

- OSPF エリア内のすべてのノードが厳格な SPF に対応していなければならない、セグメントルーティングトラフィック エンジニアリング (SR-TE) と連携する厳格な SPF ソリューションのために各ノードに少なくとも 1 つの厳格な SPF SID が必要です。
- 厳格な SPF SID の再配布はサポートされていません。

## OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF に関する情報

セグメントルーティング (SR) アーキテクチャは、複数のプレフィックス SID アルゴリズムをサポートするためのプロビジョニングを提供します。現在、2 つのアルゴリズムが定義されています。

- **アルゴリズム 0**：これは最短パスアルゴリズムであり、デフォルトでサポートされています。
- **アルゴリズム 1**：これは厳格な最短パスアルゴリズムです。パケットが SPF アルゴリズムに従って転送されることを強制し、SPF 決定を上書きする可能性のあるローカルポリシーを無視するようにパス内のルータに指示します。厳格な最短パスアルゴリズムでアドバタイズされた SID により、パケットが取得しようとしているパスは、変更後の SPF パスではなく、予期したパスになります。セグメントルーティングをサポートする各ノードで、厳格な SPF SID を構成する必要があります。

アルゴリズム 1 はアルゴリズム 0 と同じですが、パスに沿ったすべてのノードが SPF ルーティングの決定を遵守することを必要とします。ローカルポリシーは、転送の決定を変更しません。たとえば、パケットはローカルに設計されたパスを通じて転送されません。

## 厳格な SPF を使用する理由

トンネルパスでリンクまたはノード障害が発生した場合、トラフィックが修復パスに即転送されると、SR-TE トンネルを介してルーティングされた MPLS トラフィックが中間チェーンからトンネルヘッドエンドに再ルーティングされる可能性があります。ヘッドエンドが SR-TE トンネル経由でこの MPLS トラフィックを再びルーティングした場合は、利用可能な宛先への代替 IGP 最短パスが存在する場合でも、同じ MPLS トラフィックが、TTL が満了するまでトンネルに沿ってループすることがあります。

厳格な SPF SID を使用すると、SR-TE トンネルを介したトラフィックのループを防ぐことができます。厳格な SPF のサポートにより、すべてのルータは、デフォルト SID、つまり SID0 と厳格な SPF SID、つまり SID1 の両方を持つように設定されます。トンネルトラフィックがヘッドエンドにルーティングされ戻された場合、アクティブラベルとして厳格な SPF SID を持つヘッドエンドに到着して非トンネル IGP 最短パス（ネイティブパス）経由で転送されるため、SR-TE トンネルに沿ってループを壊します。エリア/トンネルパス内のすべてのノードが厳格な SPF に対応している場合は、SRTE トンネルのデフォルトのプレフィックス SID よりも、厳格な SPF プレフィックス SID が優先されます。

## 厳格な SPF 機能のアドバイズメント

OSPF は、セグメントルーティングがグローバルまたは特定のエリアで有効になっている場合に、ルータ情報 (RI) Opaque リンク状態アドバイズメント (LSA) の SR アルゴリズム TLV で厳格な SPF 機能をアドバイズします。OSPF には、SR アルゴリズム TLV のアルゴリズム 0 (SPF) とアルゴリズム 1 (厳格な SPF SID) の両方が含まれています。

受信されると、OSPF はルータ情報 Opaque LSA を解析して、SR アルゴリズム TLV を検出します。TLV が見つからないか、またはアルゴリズム 1 が TLV に含まれていない場合、OSPF はアドバイズメントルータからのすべての厳格な SPF SID アドバイズを無視します。

OSPF は引き続き単一の SRGB のみをサポートします。同じ SRGB が、通常の SID と厳格な SPF SID の両方に使用されます。通常の SID と同様に、OSPF では、SRGB 範囲の厳格な SPF SID を使用しないでください。

## 拡張プレフィックス LSA での厳格な SPF SID アドバイズメント

OSPF は、拡張プレフィックス Opaque LSA の OSPF 拡張プレフィックス TLV で 1 に設定されたアルゴリズムを使用して、プレフィックス SID サブ TLV の厳格な SPF SID 接続マップをアドバイズします。同じプレフィックスに対してデフォルト SID と厳格な SPF SID の両方が同じ LSA でアドバイズされます。OSPF は、通常の SID と厳格な SPF SID に対して、個別の明示的 NULL をアドバイズします。両方の SID は、同じアタッチフラグを共有します。

OSPF は、拡張プレフィックス Opaque LSA の OSPF 拡張プレフィックス範囲 TLV で、1 に設定されたアルゴリズムを使用して、プレフィックス SID サブ TLV の厳格な SPF SID マッピングサーバーエントリをアドバイズします。同じプレフィックスに対して、デフォルト SID と厳格な SPF SID の両方がアドバイズされる場合があります。同じプレフィックスに対して同じアルゴリズムの複数の SID がアドバイズされている場合、受信側のルータは最初のエン

コード済み SID を使用します。OSPF は、通常の SID と厳格な SPF SID に対して、個別の明示的 NULL をアドバタイズします。両方の SID は、同じアタッチ フラグを共有します。通常の SID では、アタッチ フラグの設定が異なる場合に優先順位を引き継ぎます。

SR アルゴリズム TLV が見つからないか、またはアルゴリズム 1 が TLV に含まれていない場合、OSPF はアドバタイズメント ルータからのすべての厳格な SPF SID アドバタイズを無視します。同じプレフィックスに対して同じアルゴリズムの複数の SID を受信した場合、受信側のルータは最初のエンコード済み SID を使用します。明示的 NULL およびアタッチ フラグがプレフィックスの受信 SID0 および SID1 と異なる場合、SID0 のフラグが優先順位を引き継ぎます。

## SR-TE およびルータ情報ベースとのインタラクション

デフォルトの SID と同様に、厳格な SPF SID も、SR と TE の両方がそのエリアに対して有効になっている場合にのみ SR-TE と通信します。厳格な SPF SID に関連する SR-TE では、次の 3 つの形式の通信が発生する可能性があります。

- OSPF は、そのエリアが厳格な SPF に対応しているかどうかを SR-TE にアナウンスします。エリア内のすべてのノードが厳格な SPF に対応しているいて、各ノードに少なくとも 1 つの厳格 SPF SID が設定されている場合、そのエリアは厳格な SPF に対応しています。
- OSPF は、すべてのプレフィックスおよび登録されたプレフィックスパスについての厳格な SPF SID を SR-TE にアナウンスします。
- SR-TE は、ラベルスタックに対して厳格な SPF SID を優先します。OSPF は、自動ルート アナウンス トンネル リストのリストが変更されたときに、SR-TE からトンネル リストを受信します。各トンネルについて、SR-TE は、トンネルが厳格な SPF の SID またはデフォルトの SID を使用して作成されているかどうかを示します。OSPF は、更新されたトンネル リストが SR-TE から受信されるたびにフル SPF を実行し、トンネル エンドポイント 経由で到達可能なプレフィックスの RIB パスをトンネルのネクストホップに置き換えます。

厳格な SPF SID は、ルータ情報ベース (RIB) にはインストールされていません。RIB にインストールされているプレフィックスの発信ラベルとしてインストールされるのは、デフォルトの SID のみです。SR-TE トンネル タイプは両方とも RIB にインストールされています。

## OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF の有効化および無効化

セグメントルーティング mpls が OSPF およびグローバル モードの下で設定される場合、厳格な SPF 機能はデフォルトで有効になっています。これを有効または無効にする個別の CLI はありません。

# OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF SID の設定

OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF を設定するには、次の手順を実行します。

```
segment-routing mpls
connected-prefix-sid-map
address-family ipv4
  10.0.0.0/8 2
  172.16.0.0/8 3
address-family ipv4 strict-spf
  10.0.0.0/8 22
  172.16.0.0/8 23
exit-address-family
```

# OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF の確認

次のコマンドを使用して、OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF を確認します。

## OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF SID の確認

```
Device#show ip ospf database opaque-area type ext-prefix

          OSPF Router with ID (10.0.0.4) (Process ID 10)

          Type-10 Opaque Area Link States (Area 0)

LS age: 40
Options: (No TOS-capability, DC)
LS Type: Opaque Area Link
Link State ID: 10.7.0.3
Opaque Type: 7 (Extended Prefix)
Opaque ID: 3
Advertising Router: 10.0.0.2
LS Seq Number: 80000003
Checksum: 0xFB42
Length: 56

  TLV Type: Extended Prefix
  Length: 32
    Prefix      : 10.0.0.6/32
    AF          : 0
    Route-type: Intra
    Flags      : N-bit

  Sub-TLV Type: Prefix SID
  Length: 8
    Flags : None
    MTID  : 0
    Algo  : SPF
    SID   : 100

  Sub-TLV Type: Prefix SID
  Length: 8
    Flags : None
    MTID  : 0
```

```

Algo  : Strict SPF
SID   : 101

```

```
Device#show ip ospf segment-routing sid-database
```

```
OSPF Router with ID (10.0.0.4) (Process ID 10)
```

```
OSPF Segment Routing SIDs
```

```
Codes: L - local, N - label not programmed,
M - mapping-server
```

SID	Prefix	Adv-Rtr-Id	Area-Id	Type	Algo
2	10.0.0.2/32	10.0.0.2	0	Intra	0
4	(L) 10.0.0.4/32	10.0.0.4	0	Intra	0
7	10.0.0.7/32	10.0.0.5	0	Intra	0
9	10.0.0.8/32	10.0.0.2	0	Intra	0
20	10.0.2.20/32	10.2.2.2	0	Intra	0
21	10.0.22.21/32	10.2.2.2	0	Intra	1
22	(M) 10.0.2.22/32			Unknown	0
29	(M) 10.0.22.29/32			Unknown	1
33	10.0.33.33/32	10.3.3.3	0	Intra	1
38	(M) 10.0.3.38/32			Unknown	0
39	(M) 10.0.33.39/32			Unknown	1
77	10.77.77.77/32	10.5.5.5	0	Inter	0
92	(M) 10.1.2.92/32			Unknown	0
99	10.99.99.99/32	10.9.9.9	0	Intra	0
100	10.0.2.100/32	10.2.2.2	0	Intra	0
101	10.0.2.100/32	10.2.2.2	0	Intra	1
120	10.3.3.120/32	10.3.3.3	0	Intra	0
121	10.3.3.120/32	10.3.3.3	0	Intra	1

```
Device#show ip ospf segment-routing mapping-server
```

```
OSPF Router with ID (10.0.0.4) (Process ID 10)
```

```
Advertise local: Enabled
Receive remote: Enabled
```

```
Flags: i - sent to mapping-server, u - unreachable,
s - self-originated
```

```
10.0.2.22/32 (R), range size 1
```

Adv-rtr	Area	LSID	SID	Type	Algo
i 10.2.2.2	0	10.0.0.4	22	Intra	0
s 10.4.4.4	24	10.0.0.1	22	Inter	0

```
10.1.2.92/32 (R), range size 1
```

Adv-rtr	Area	LSID	SID	Type	Algo
i 10.2.2.2	0	10.0.0.5	92	Intra	0
s 10.4.4.4	24	10.0.0.2	92	Inter	0

```
10.0.3.38/32 (R), range size 1
```

Adv-rtr	Area	LSID	SID	Type	Algo
i 10.3.3.3	0	10.0.0.2	38	Intra	0
s 10.4.4.4	24	10.0.0.3	38	Inter	0

```
10.3.3.48/32 (R), range size 1
```

Adv-rtr	Area	LSID	SID	Type	Algo
i 10.3.3.3	0	10.0.0.3	48	Intra	0
s 10.4.4.4	24	10.0.0.4	48	Inter	0

```

10.0.22.29/32 (R), range size 1
  Adv-rtr      Area      LSID      SID      Type      Algo
i  10.2.2.2    0          10.0.0.6  29       Intra     1
s  10.4.4.4    24        10.0.0.5  29       Inter    1

10.1.22.99/32 (R), range size 1
  Adv-rtr      Area      LSID      SID      Type      Algo
i  10.2.2.2    0          10.0.0.7  99       Intra     1
s  10.4.4.4    24        10.0.0.6  99       Inter    1

10.0.33.39/32 (R), range size 1
  Adv-rtr      Area      LSID      SID      Type      Algo
i  10.3.3.3    0          10.0.0.4  39       Intra     1
s  10.4.4.4    24        10.0.0.7  39       Inter    1

10.3.33.49/32 (R), range size 1
  Adv-rtr      Area      LSID      SID      Type      Algo
i  10.3.3.3    0          10.0.0.5  49       Intra     1
s  10.4.4.4    24        10.0.0.8  49       Inter    1

Device#show ip ospf segment-routing local-prefix
          OSPF Router with ID (10.0.0.7) (Process ID 10)

Area 0:
  Prefix:      Sid:    Index:      Type:      Algo:  Source:
10.2.2.2/32    2      10.0.0.0    Intra     0      Loopback0
                22     10.0.0.0    Intra     1      Loopback0
10.23.23.4/32 233    10.0.0.1    Intra     1      Loopback3

```

### OSPFv2 セグメントルーティングの厳格な SPF 機能の確認

```

Device#show ip ospf database opaque-area type router-information self
          OSPF Router with ID (10.0.0.4) (Process ID 10)

          Type-10 Opaque Area Link States (Area 0)

LS age: 1692
Options: (No TOS-capability, DC)
LS Type: Opaque Area Link
Link State ID: 10.4.0.0
Opaque Type: 4 (Router Information)
Opaque ID: 0
Advertising Router: 10.4.4.4
LS Seq Number: 80000002
Checksum: 0x72B
Length: 60

TLV Type: Router Information
Length: 4
Capabilities:
  Graceful Restart Helper
  Stub Router Support
  Traffic Engineering Support

TLV Type: Segment Routing Algorithm
Length: 2
  Algorithm: SPF
  Algorithm: Strict SPF

TLV Type: Segment Routing Range
Length: 12

```

```

Range Size: 8000

Sub-TLV Type: SID/Label
Length: 3
Label: 16000

TLV Type: Segment Routing Node MSD
Length: 2
Sub-type: Node Max Sid Depth, Value: 10

```

### OSPF ローカル RIB データベースで使用される厳格な SPF ラベルの確認

```

Device#show ip ospf rib 10.0.0.8

OSPF Router with ID (10.0.0.6) (Process ID 10)

Base Topology (MTID 0)

OSPF local RIB
Codes: * - Best, > - Installed in global RIB
LSA: type/LSID/originator

*> 10.0.2.100/32, Intra, cost 21, area 0
SPF Instance 28, age 00:01:19
contributing LSA: 10/10.7.0.3/10.2.2.2 (area 0)
SID: 100, Properties: Sid, LblRegd, SidIndex, N-Flag, TeAnn
Strict SPF SID: 101, Properties: Force, Sid, LblRegd, SidIndex, N-Flag
Flags: RIB, HiPrio
via 10.6.0.3, Ethernet0/1, label 16100, strict label 16101
Flags: RIB
LSA: 1/10.2.2.2/10.2.2.2
PostConvrq repair path via 10.6.0.5, Ethernet0/3, label 16100, strict label 16100,
cost 31
Flags: RIB, Repair, PostConvrq, IntfDj, BcastDj
LSA: 1/10.2.2.2/10.2.2.2

```

### 厳格な SPF TILFA トンネルの確認

```

Device#show ip ospf fast-reroute ti-lfa tunnels internal

OSPF Router with ID (10.0.0.2) (Process ID 10)

Area with ID (0)

Base Topology (MTID 0)

TI-LFA Release Node Tree:

TI-LFA Release Node 10.4.4.4 via 10.2.0.1 Ethernet0/0, instance 12, metric 20
Interface MPLS-SR-Tunnel2
Tunnel type: MPLS-SR (strict spf)
Tailend router ID: 10.4.4.4
Termination IP address: 10.4.4.4
Outgoing interface: Ethernet0/0
First hop gateway: 10.2.0.1
instance 12, refcount 1
rn-1: rtrid 10.4.4.4, addr 10.4.4.4, strict node-sid label 16044

TI-LFA Release Node 10.4.4.4 via 10.3.0.3 Ethernet0/1, instance 12, metric 20

```

```

Interface MPLS-SR-Tunnell
  Tunnel type: MPLS-SR (strict spf)
  Tailend router ID: 10.4.4.4
  Termination IP address: 10.4.4.4
  Outgoing interface: Ethernet0/1
  First hop gateway: 10.3.0.3
  instance 12, refcount 1
    rn-1: rtrid 10.4.4.4, addr 10.4.4.4, strict node-sid label 16044

TI-LFA Node Tree:

TI-LFA Node 10.1.1.1 via 10.2.0.1 Ethernet0/0, abr, instance 12, rspt dist 0
  not-in-ext-p-space, in-q-space, interesting node 1
  Link Protect strict Path-1: via 10.3.0.3 Et0/1, parent 1/10.4.4.4, metric:30,
  rls-pt:10.4.4.4 at dist:20
  repair:y, rn-cnt:1, first-q:10.4.4.4, rtp-flags:Repair, PostConvrq, IntfDj
  rn-1: rtrid 10.4.4.4, addr 10.4.4.4, strict node-sid label 16044
  Protected by: MPLS-SR-Tunnell1, tailend 10.4.4.4, rls node 10.4.4.4
  instance 12, metric 20, refcount 1

TI-LFA Node 10.3.3.3 via 10.3.0.3 Ethernet0/1, instance 12, rspt dist 0
  not-in-ext-p-space, in-q-space, interesting node 1
  Link Protect strict Path-1: via 10.2.0.1 Et0/0, parent 1/10.4.4.4, metric:30,
  rls-pt:10.4.4.4 at dist:20
  repair:y, rn-cnt:1, first-q:10.4.4.4, rtp-flags:Repair, PostConvrq, IntfDj
  rn-1: rtrid 10.4.4.4, addr 10.4.4.4, strict node-sid label 16044
  Protected by: MPLS-SR-Tunnel2, tailend 10.4.4.4, rls node 10.4.4.4
  instance 12, metric 20, refcount 1

TI-LFA Node 10.4.4.4 via 10.2.0.1 Ethernet0/0, abr, instance 12, rspt dist 10
  in-ext-p-space, in-q-space, interesting node 1
  Link Protect strict Path-1: via 10.3.0.3 Et0/1, parent 1/10.3.3.3, metric:20,
  rls-pt:10.3.3.3 at dist:10
  repair:y, rn-cnt:0, first-q:10.4.4.4, rtp-flags:Repair, PostConvrq, IntfDj, PrimPath
  Protected by: directly connected TI-LFA

TI-LFA Node 10.4.4.4 via 10.3.0.3 Ethernet0/1, abr, instance 12, rspt dist 10
  in-ext-p-space, in-q-space, interesting node 1
  Link Protect strict Path-1: via 10.2.0.1 Et0/0, parent 1/10.1.1.1, metric:20,
  rls-pt:10.1.1.1 at dist:10
  repair:y, rn-cnt:0, first-q:10.4.4.4, rtp-flags:Repair, PostConvrq, IntfDj, PrimPath
  Protected by: directly connected TI-LFA

TI-LFA Protected neighbors:

Neighbor 10.2.0.1 Ethernet0/0, ID 10.1.1.1, Dist 10, instance 12
  TI-LFA Required, TI-LFA Computed, RLFA not Required
  TI-LFA protection Required: link

Neighbor 10.3.0.3 Ethernet0/1, ID 10.3.3.3, Dist 10, instance 12
  TI-LFA Required, TI-LFA Computed, RLFA not Required
  TI-LFA protection Required: link

```

### 厳格な SPF SR-TE トンネルの確認

```

Device#show mpls traffic-eng segment-routing ospf summary
IGP Area[1]:  ospf 10  area 0, Strict SPF Enabled:
Nodes:

```

```

IGP Id: 10.1.1.20, MPLS TE Id: 10.1.1.1, OSPF area 0
  2 links with segment-routing adjacency SID
IGP Id: 10.2.0.0, MPLS TE Id: 10.2.2.2, OSPF area 0
  2 links with segment-routing adjacency SID
IGP Id: 10.3.0.0, MPLS TE Id: 10.3.3.3, OSPF area 0
  3 links with segment-routing adjacency SID
IGP Id: 10.4.4.4, MPLS TE Id: 10.4.4.4, OSPF area 0
  3 links with segment-routing adjacency SID
IGP Id: 10.5.0.0, MPLS TE Id: 10.5.5.5, OSPF area 0
  2 links with segment-routing adjacency SID
Prefixes:
10.1.1.1/32, SID index: 1, Strict SID index: 11
10.2.0.2/32
10.2.2.2/32, SID index: 2, Strict SID index: 22
10.2.2.22/32, SID index: 222, Strict SID index: 2222
10.3.3.3/32, SID index: 3, Strict SID index: 34
10.3.3.33/32, SID index: 333, Strict SID index: 1333
10.4.4.4/32, SID index: 4, Strict SID index: 444
10.5.5.5/32, SID index: 5, Strict SID index: 555
10.6.6.6/32, SID index: 6
10.7.7.7/32, SID index: 7
Total:
  Node Count      : 5
  Adjacency-SID Count: 17
  Prefix-SID Count : 10
Grand Total:
  Node Count      : 5
  Adjacency-SID Count: 17
  Prefix-SID Count : 10
  IGP Areas Count : 1

```

### 厳格な SPF 修復パスを使用して保護された adj-SID の確認

```
Device#sh ip ospf segment-routing protected-adjacencies detail
```

```
OSPF Router with ID (10.0.0.0) (Process ID 10)
```

```
Area with ID (0)
```

```

Nbr id 10.0.0.1, via 10.0.0.2 on Ethernet0/1, Label 26
  Primary path: via 10.0.0.2 on Et0/1, out-label 3
  Repair path: via 10.0.0.3 on Et0/2, out-label 13222, cost 31, labels 0
  Nbr Prefix 10.0.0.4, Strict
Nbr id 10.0.0.5, via 10.0.0.3 on Ethernet0/2, Label 25
  Primary path: via 10.0.0.3 on Et0/2, out-label 3
  Repair path: via 10.0.0.2 on Et0/1, out-label 12333, cost 21, labels 0
  Nbr Prefix 10.0.0.5, Strict

```

### セグメントルーティング グローバル ブロックの確認

```
Device#show ip ospf segment-routing global-block
```

```
OSPF Router with ID (10.0.0.0) (Process ID 10)
```

```
OSPF Segment Routing Global Blocks in Area 0
```

Router ID:	SR Capable:	SR Algorithm:	SRGB Base:	SRGB Range:	SID/Label:
*10.0.0.0	Yes	SPF,StrictSPF	16000	8000	Label
10.0.0.1	Yes	SPF,StrictSPF	16000	8000	Label
10.0.0.2	Yes	SPF,StrictSPF	16000	8000	Label

10.0.0.3	Yes	SPF	16000	8000	Label
10.0.0.4	Yes	SPF,StrictSPF	16000	8000	Label
10.0.0.5	No				
10.0.0.6	Yes	SPF	16000	8000	Label
Device#					



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。